

# 夜間の違法駐車と運転代行調査

違法行為が年々悪質化する運転代行

(石川ハイタク連合会)

2012年8月3・25日 石川ハイタク連合会が夜間調査を行いました。

全自交石川ハイタク連合会は8月25日に金沢市の片町・香林坊、8月の3日には小松市において夜間の違法駐車および運転代行調査を行いました。金沢市における調査では、県交運労協を構成する産別組合（JR総連・JR連合・私鉄総連・運輸労連）の協力で、石川運輸支局・金沢中署・石川県タクシー協会にも参加を要請、繁華街における悪質な駐車違反や運転代行の違法な営業形態について調査をしました。



当日は、タクシー協会の片町における街頭指導と重なったせいか、指導員が立っているところでは悪質な違反は目立ちませんでしたが、目が届かないところでは横断歩道や交差点に車体の一部をかけての客待ちが多数見られました。また、乗車率の良い場所へ流し込むために交差点近くでは歩道に乗り上げ順番を待つ車両もいました。

運転代行の随伴車両は、駐車場が多い中央通りと大工町・河原町周辺に集中し、タクシーの客待ちスペースをふさいで堂々と辻待ちをしている状態です。また、助手席から通る人に「代行はいかがですか」と声をかけ、悪質な者は外に出て声をかける始末で、随伴車に客を乗せるAB間輸送も見うけられました。



また、8月3日の小松市における調査では、金曜日ながら23時を回る頃から辻待ちをする運転代行の随伴車が増えだしました。お客に鍵を預かり車を取りに行く代行車両は1台もおらず、目と鼻の先の駐車場へ車を取りに行くのにも随伴車に客を乗せて行く状況です。今回の調査によっても、陰で行われていた違法行為が表で堂々と行われるようになり年々悪質化していることは明白であり、調査結果をもって各担当行政部門へ改善要請を行って



きます。なお、実情視察ということで全自交中部地方協議会・佐野幸治事務局長、三重近鉄タクシー労組・小田雅彦委員長、名鉄岡崎タクシー労組・伊東雅和彦委員長が金沢の運転代調査に参加しました。